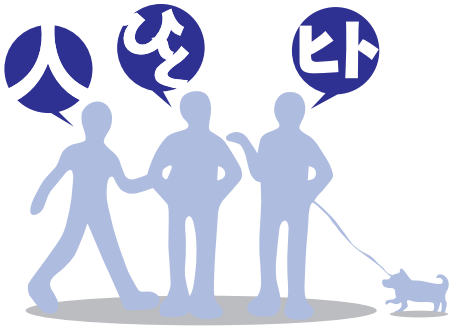

つながりを大切に

竹内　友康先生【岩見沢】

今回は、岩歯執行部を長きにわたり支えて来られた竹内友康先生を紹介いたします。先生は平成3年に初めて総務特別会計に就任以来、総務会計・特別会計を計6年、専務理事9年、副会長7年、計8期22年もの間、要職に就かれていました。この間、北海道歯科医師ゴルフ大会2回、同野球大会1回、岩歯50周年記念式典等、数々の大きなイベントをまとめてこられました。しかし「会のために一生懸命やっていただける先生方がたくさんいたので、自分は指示のみで大した仕事はしていませんでした」と謙遜されます。

先生は岩見沢生まれの岩見沢育ちで、内科医であるお父様の勧めもあって、現在の日本歯科大学新潟生命歯学部に進まれました。大学入学当時はダンスパーティーが流行り、新潟は他にも大学が幾つもある土地柄、また同郷の先輩の誘いもあって、社交ダンス部を作られたそうです。また、週末にゴルフ場でキャディのアルバイトをしながら貯めたお金で自らもよくゴルフをしたそうで、現在もシーズン中はゴルフ第一優先の休日を送られているようです。「最近はあまりスコアには執着せず、先輩・同級生・後輩と楽しくラウンドしています」とのことです。

大学卒業後は北大歯学部第一口腔外科の富田喜内教授の下で3年余り勉強され、口腔外科の先輩である三嶋 顕 先生の医院で数か月研修後、昭和60年に岩見沢市内で開業し岩歯会に入会されました。開業後も口腔外科以外の勉強がしたいと東京の研修会によく参加し、昼は勉強、夜は講師の先生と大いに懇親を深め、札幌の先生とスタディグループを作ってよく勉強会を開いていたとのことです。口腔外科病棟勤務時代に見初めた奥様とは開業の2か月前に結婚し、2人いらっしゃるお嬢様はすでに成人されています。会計理事の6年間は元銀行員の奥様の助けがあって何とかやってこれたとのこと、また、当時の専務であった青野茂俊先生はじめ役員の先生方には、会務をいろいろと教えていただき、また夜遅くまでお付き合いいただき大変お世話になりました。この場を借りてお礼を申し上げたいとのことでした。最後に「野球大会は先輩・後輩や同級生・同窓生に会え、北海道の歯科医師の懇親のためのいい機会だから是非皆さんに参加して欲しい」と、人と人との繋がりを非常に大切にされる竹内先生でした。

（久恒泰宏記）